

東日新聞

TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社 <https://www.tonichi.net>
 〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

地域を笑顔に

- ② 豊川市長選立候補予定者公開討論会まとめ
- ⑦ きょうとあす鈴木健史さん陶芸展
- ③ 新城市バス運賃電子マネーに対応
- ⑩ 東三河サボカーSキャンペーン
- ⑥ 桜丘高ダンス部が文科大臣賞
- ⑪ 新城市でドローン農業散布デモフライト

無料 喜しの相談コーナー

税務相談	年金相談	ローン相談
本店営業部 第2土曜日 午前10時～12時	第3土曜日 午前10時～12時	第2・3土曜日 午前10時～12時
赤羽根支店 第3水曜日 午前10時～12時	第2水曜日 午前10時～12時	

豊橋商工信用組合
 詳しくは豊橋の営業店までお問い合わせください



最終日の15日に会館3階で、ボランティアサークル「豊橋手話通訳学習者の会」が来月の手話検定試験に向け、聴覚障害者2人を含む14人が参加して学習会を開いていた。

「停電でエレベーターは使えません。訓練放送が館内に流れると、一人一人が避難経路を確認した上で非常階段から約

100段先の桜ヶ丘公園へ避難した。その一人、聴覚障害者の福山平子さんは、初めて訓練に参加した。「避難の際、階段は狭く、注意する必要がある。同時に災害の際、非常階段で逃げることを初めて知り、役立ち」と感想を述べた。

防災タイムは1日、15日の午前、午後、夜の3回設定され、

時間は各約10分。利用者が身近に防災を考え、より実践的に訓練をしてみよう」と企画された。車いすなどの歩けない人については各階の避難スペースまで避難した。期間中は障害者312人を含む80

団体で計625人が参加した。取り組み始めた2016年を加え48団体377人を加え17年で計688人、17人が障害者215人を入れて57団体で計505人、18人が障害者340人を含む67団体で計677人と回数を重ねることに参加する団体が増えている。

ただ、初回だけ期間を約4カ月間と長くとし、総会も重なったため、参加者は多かった。しかし、今年は猛暑や台風の影響などで前年より少なかった。

利用者からは「勉強になった」「毎年やらないと忘れてしまう」などと好評だ。施設側では利用者

より身近に 実践的に

「自分の命は自分で守って」。防災活動に力を入れる豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」(東新町)は、今月の前半に「防災タイム」を設け、利用者が避難訓練を体験した。4年目を迎え、参加する団体が増え、防災意識が高まっている。施設側は利用者の指摘を受け入れ、災害に備え、設備を整備している。

防災タイム設け利用者避難訓練

豊橋・さくらピア

万一へ備え意識高まる



桜ヶ丘公園で災害に備え、心構えを語る本田事務長(右端)と同

訓練する団体が増えていることについて本田栄子事務長は「団体の活動が盛んになったことによる」とみる。その上で「利用者の防災意識が向上している。

訓練を続けることが大切だ」と話す。こうした取り組みの輪が広がるように市に働きかけている。

会館は4階建て。豊橋障害者(児)団体連合協議会が管理運営する。会館の事業として障害者の生活を応援する一部と考える

2019年9月27日(金)

東日新聞